

<週報No. 2, 919> 3, 030 回例会

2020年6月19日(金)

◆会長／玉本 広人 ◆幹事／山田 文雄

◆司会＝八幡一成SA

◆ゲストビジター＝本日はいらっしゃいません。

◆出席報告

本日	100.00%	0名欠席
前回訂正	100.00%	0名欠席

◆ラッキーナンバー＝No.2 八幡一成君

◆ニコニコボックス＝●玉本広人君、山田文雄君＝あと2回です。役員の皆さん、最後の挨拶よろしくお願いたします●山崎晃君、小口泰幸君＝結婚記念日にお花をいただいて●前田剛彦君＝4月の結婚記念日に花束をありがとうございました。妻が超ビックリしていました●八幡一成君＝ラッキーNo.にあたって。

◆会長告知・玉本広人会長＝皆さんこんにちは。昨日、諏訪市教育委員会にマスク 2000枚と消毒剤として次亜塩素酸ナトリウム 20K を小中学校各 1本計 11本 寄付し豊田小学校にて贈呈式が行われました。時節柄大勢で学校に押し掛けるのもどうかと思ひ、私と山田幹事の2名で参加しました。この次亜塩素酸ナトリウムは私の会社で漂白剤として使用しているのですが、新型コロナ騒ぎでアルコール消毒剤が不足する中、厚生労働省が有効な消毒剤として推奨しています。今回寄付した次亜塩素酸ナトリウム 20K で厚生労働省推奨 0.05%溶液にすると約 4800L、2ℓ ペットボトル 2400 本分の消毒液ができます。

さて、この次亜塩素酸ナトリウムと混同されがちで最近世の中を騒がせているものに次亜塩素酸水というのがあります。次亜塩素酸ナトリウムは強アルカリ性ですが、次亜塩素酸水は酸性で次亜塩素酸 HClO を主成分としています。その作り方には、塩酸や塩化ナトリウム水溶液を装置で電気分解することで作る「電気分解方式」と次亜塩素酸ナトリウムと塩酸などを混ぜ、酸性に調整して希釈させた「混合方式」の2種類あります。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐアルコールの代替品として、自治体が無料配布したり各メーカーから様々な商品が販売されています。次亜塩素酸水が消毒剤として有効であることは、厚生労働省

が2002年、電気分解方式の次亜塩素酸水を「殺菌料」として食品添加物に指定し食品の殺菌に用いられていることから確かだとは思いますが「次亜塩素酸水は、最終食品の完成前に除去しなければならない」「使用後、最終食品の完成前に除去される場合、安全性に懸念がないと考えられる」との指針を示しています。野菜などの洗浄には、生成する機械から出てきたばかりの次亜塩素酸水を流水状態で使用しますが、本来の次亜塩素酸水は、有機物と触れると即座に水と若干の塩素に分解され塩素はすぐ揮発するので人体にも無害のはずです。ところが独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)が厚生労働省から委託されて新型コロナウイルスに有効な界面活性剤等の調査をしたその報告書の中で、「現時点において『次亜塩素酸水』の新型コロナウイルスへの有効性は確認されていない」と公表しマスクが次亜塩素酸水は効かないと報道、また空間噴霧の安全性などにも疑問を示したため、次亜塩素酸水のメーカーや大学の研究者などから反論などが起きいまだ結論は出ていません。NITEの報告書をよく読むと、次亜塩素酸水が効かないと言っているわけではなく、製品として売られている中にもどうも効果や安全性の怪しい物があるということがわかります。きちんと成分表示がない物や、光が当たると分解が進むことから本来遮光性の容器であるべき物がそうでない物などもあり、そもそも非常に分解の早い性質の物が消費者の手に届くまでにその成分を維持しているのかについて甚だ疑問ではあります。私も独自に「混合方式」の次亜塩素酸水を作って実験などしてみましたが、混合方式では次亜塩素酸が最も働くPH5に調整した場合でも即座に分解せず、安全性にはかなりの疑問があります。ナトリウムなどの余計な成分が入っていることで、また次亜塩素酸ナトリウムに戻ったり次亜塩素酸として不安定な状態になっているのではないかと考えます。塩酸あるいは食塩水を陽極と陰極の間に隔膜を用いて電気分解したもの以外は使用しない方が無難と言えそうです。学校に贈った次亜塩素酸ナトリウムは効果は確かですので、使用後のふき取りの徹底や取り扱いに注意をして、学校内での感染予防に生かしていただきたいと思ひます。

◆幹事報告・山田文雄幹事＝いよいよ本年度の例会も、あと2回となりました。早出由男会員にポールハリスフェローのピンバッジが届いており、後程贈呈セレモニー

を行います。今日は会長・役員担当の退任役員挨拶です。役員名簿の後の方から順に指名させていただきます。



◆**ポールハリスフェローのピンバッチ贈呈**＝早出由男会員に贈呈されました。

◆**役員退任挨拶**

●**職業奉仕委員長・増澤洋太**

**郎会員**＝1月31日例会を担当し、タケヤ味噌様を訪問させていただきました。大勢の人にご参加いただき、また、藤森郁男さんにはお世話になり、御礼申し上げます。



●**親睦・クラブ親善委員長・小平直史会員**＝会員、およびご家族の皆様が楽しく参加できる例会を開催しようと心がけました。3000回例会で大変緊張しましたが、無事済みしました。その後、ゴルフ例会、バスハイク、クリスマス例会と開催させていただきました。



●**出席副委員長・宮坂康弘会員**＝石田委員長が転勤にて退任のため、私から報告します。初回の例会の出席率は90.7%という高い数値から始まり前回までの32回の平均出席率は74.36%です。コロナに伴う全員出席の数字を除いても71.71%ですので、昨年より5.6%上回りました。バスハイクは36.36%で今後の課題だと思います。



●**IM実行委員会事務局長・ガバナー補佐事務局幹事・SAA・八幡一成会員**＝IM実行委員会と小口ガバナー補佐事務局を、飯田会員、川村会員、私の3名で担当させていただきました。IM実行委員会については残念ながら中止となりましたが、河西実行委員長の方針のもと全体の調整と予算の管理を担当しました。本日、お手元の収支報告書の通り報告します。SAAとしては毎回の例会の司会を飯田会員とともに担当し、皆様のご協力のもと和



やかな例会ができたと思います。

やかな例会ができたと思います。

●**米山奨学会委員長・山崎晃会員**＝これまで3～4回経験を経て、今回も米山月間



のときに担当させていただきました。皆様のおかげで何とか終わらせることができました。



●**国際奉仕委員長・山本實会員**＝宮坂直孝副委員長のご協力のもと、2月7日にクラブ

フォーラムとして諏訪国際交流協会の松井会長と、事務局の諏訪市総務課の笠原様をお

招きし、諏訪市の海外姉妹都市4市との昭和35年からの事業交流体験についてお話しいただきました。

●**青少年奉仕委員長・五味武嗣会員**＝ローターアクトクラブとの合同例会を1回実施しました。先日、関係団体活動報告にて、諏訪市スポーツ少年団とガールスカウトの報告をしていただきました。来年度は諏訪でローター



アクトの地区大会が開催される予定です。

●**社会奉仕委員長・小針哲郎会員**＝折井副委員長のご協力のもと、10月末に諏訪中学校にて諏訪学、ふるさと学習本等、様々な図書を寄贈しました。また諏訪教育総務課の方に来ていただき、今後の小中一貫校への計画をお話し



いただきました。



●**プログラム委員長・伊藤武利会員**＝年間9回、担当例会がありました。飯田副委員長の広い人脈と私の知人にて講師をお願いする予定のところコロナの影響で実施できませんでしたが、おかげさまで職責を全うできました。

◆**今後の例会日程**

6月26日	金	役員挨拶（退任役員挨拶）
7月3日	金	クラブ協議会（新年度方針あいさつ）
7月10日	金	クラブ協議会（新年度方針あいさつ）